

マルチモダリティによる Cardiac Imaging 2013

最新技術がもたらすベネフィット：
被ばく低減・低侵襲検査をめざして



企画協力：長尾充展

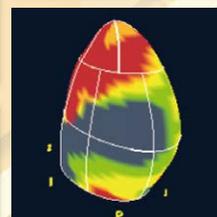
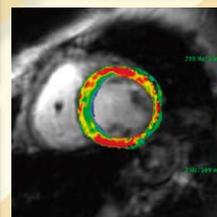
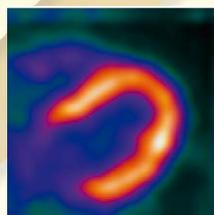
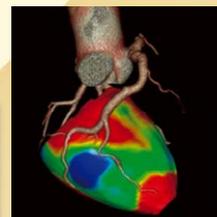
九州大学大学院医学研究院分子イメージング・診断学講座客員准教授

特集1 【技術編】それぞれの技術の到達点

毎年恒例のマルチモダリティ特集は、4月号が「技術編」、5月号が「臨床編」と、2本立ての構成になっています。2013年は心臓をテーマに、「最新技術がもたらすベネフィット—被ばく低減・低侵襲検査をめざして」というタイトルのもと、虚血性心疾患を中心とした心臓疾患の診療における先進的な技術や、その臨床応用についての最新動向を特集します。

4月号の「技術編」では、モダリティ別に各社製品の技術の到達点をご紹介します。そして、5月号は「臨床編」として、特に、被ばく低減および低侵襲性をめざす視点からの新しいモダリティ、新しい検査技術の臨床応用とその成果、課題等をご報告いただきます。

(各モダリティ別にメーカー名50音順掲載：用語表記はメーカー規定に準ず)



特集2 5月号【臨床編】予告

I CTのストラテジー & アウトカム

- 心臓CTの臨床における位置づけ
—被ばく低減技術の進化を中心に
宇都宮大輔(熊本大学大学院医学薬学
研究部放射線医学教室)
- 心臓CTの臨床における位置づけ
—国際主要学会の診療ガイドラインを
中心に
船橋伸禎(千葉大学医学部循環器内科)

〈各施設からの報告〉

- 三重大学(永澤直樹/北川覚也)
- 東京大学(富澤信夫/大友 邦)
- 東京女子医科大学東医療センター
(町田治彦)
- 広島市民病院(松浦範明)
- 埼玉県循環器・呼吸器病センター
(中島崇智/星 俊子)

II MRIのストラテジー & アウトカム

- 心臓MRIの臨床における位置づけ
—低侵襲検査という視点を踏まえて
天野康雄(日本医科大学付属病院放射線科)

〈各施設からの報告〉

- 国立循環器病研究センター(森田佳明)
- 北海道大学(真鍋徳子)
- 慶應義塾大学(奥田茂男)
- 九州大学病院(船津亮平)
- 三重大学(石田正樹)
- 草津ハートセンター(渡邊哲史)

III USのストラテジー & アウトカム

〈各施設からの報告〉

- 筑波大学(瀬尾由広)
- 神奈川県立子ども医療センター
(川滝元良)

IV DA (FPD)のストラテジー & アウトカム

〈各施設からの報告〉

- 浜田医療センター(中山睦男)
- 兵庫医科大学病院(松本一真)
- 城山病院(福本仁志)

V PET, SPECTのストラテジー & アウトカム

- PET, SPECTの臨床における位置づけ
—低侵襲検査という視点を踏まえて
宮川正男(愛媛大学医学部附属病院
PETセンター)

〈各施設からの報告〉

- 北海道大学(吉永恵一郎)
- 日本医科大学健診医療センター
(石原圭一)
- 東京女子医科大学病院(百瀬 満)
- 国立循環器病研究センター病院
(木曾啓祐)

VI IT：画像処理とワークフロー

〈各施設からの報告〉

- 淀川キリスト教病院(高石博史)
- 倉敷中央病院(山本浩之)
- 今里ハートクリニック(上田祐二)
- 東京医科大学病院(平野雅春)
- 熊本大学医学部附属病院(坂口 尚)